



かつやま

3 No.664
月号

「どうぞ、お召し上がりください」

3月6日に平泉寺保育園で行われた「春待ち茶会」の様子です。みんなとても緊張していましたが、最後まで立派にお手前を披露しました。



CONTENTS Web

勝山左義長まつり
農業委員会だより
新HP紹介
HOT話題

平成22年3月11日発行

歴史の散歩道

(113)

「白山道・中ノ橋道」の道標



白山道・中ノ橋道の石標（高さ50cm・幅25cm）現在は中ノ橋道側20mの道脇に立つ



元禄頃の勝山城下絵図部分（成器西小学校蔵）

勝山本町の北側を右に折れて進めば、大連寺前に入る（県道勝山停車場線）。すぐ先の三叉路を左に折れて進み、主要地方道勝山・丸岡線を横切って進めば、浄願寺前・谷屋前に入る。ここからさらに、猿倉・寺尾・栃神谷・六呂師・谷を経て谷峠（海拔九一四メートル）へ進むのが、元の「白山道」であった。しかし、大連寺前に国道一五七号線に繋がる道路が開通し、今は脇道になってしまった。この元「白山道」を、前田米穀燃料店の手前を左に折れてそのまま進めば、加賀新保に至る。つまり、郡・黒原を経て中ノ橋を渡り、蕨谷から越戸峠を越えて、野津又・横倉集落を経て大日峠（海拔二二九九メートル）を越え、加賀新保・小松に出る「加賀新保道」である。この分岐点に写真の道標があり、明和五年（一七六八）と記されている。

この道標のできる七〇年前程前、元禄期（一六九一～一七〇三）に描かれた勝山町図には、この道筋に家数は少ないが、既に家並が見られ、谷道・黒原道と記されている。この二つの道は時代によって様々な呼び名があり、「中ノ橋道」は黒原道・加賀新保道・新丸線・国道四一六号線（滝波につながる）と呼ばれ、「白山道」も谷道・牛首道とも呼ばれている。白山道は白山登頂への道である。古代には、平泉寺から白山禅定道を目指したが、江戸期には、この「白山道」を利用するのが一般的で、六呂師・河合（ここから小原越えもある）・谷・牛首集落から右に折れて一之瀬を目指した（『白山紀行』・『白山上記』など）。牛首から北へそのまま進めば、金沢に到達する。この白山道（牛首道）はしばしば改修され、国道昇格でルートも小原回りとなり、新谷トンネルの開通で便利になった。

文化財保護員 増田公輔

人口の動き

	1月末現在	自然動態		社会動態		2月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,703人	8	11	9	18	12,691人	-12人
女	13,878人	9	20	13	33	13,847人	-31人
合計	26,581人	17	31	22	51	26,538人	-43人
世帯数	8,304世帯					8,282世帯	-22世帯

編集後記
勝山左義長まつりが今年も盛大に行われました。ますますの天候に恵まれ、約11万人の人数で賑わいました。今年もお囃子に合わせ「浮く」子どもたちの本当に楽しそうな笑顔が印象に残りました。この姿に今回「かつやま」左義長「大使」に任命された作家の椎名誠さんも魅きつけられたでしょう。勝山にこれから本格的な春がやってきます。

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成22年2月末	前年比
総件数	106件	+19
人身事故 (うち高齢者)	14件 (6)	+2 (+3)
死者 (うち高齢者)	1人 (1)	+1 (+1)
傷者	14人	±0
物損事故	92件	+17

3月の納税

今月の納税はありません

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで